

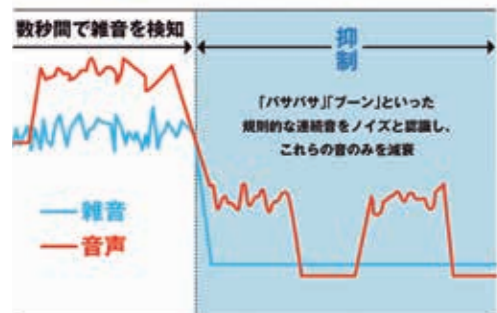


音楽も会話も音質にこだわった  
マルチメディアインカム

# MIDLAND BT X2 PRO Hi-fi

LINKS 075-708-2362 http://www.midlandradio.jp

2万3,544円/シングルパック・4万5,144円/ツインパック  
最大通話人数:4人  
最大通信距離:1,000m※見通しのよいところ  
最大通信時間:20時間 防塵防水:IPX6  
他社インカム接続:可(1台)  
Bluetooth規格:Ver4.2



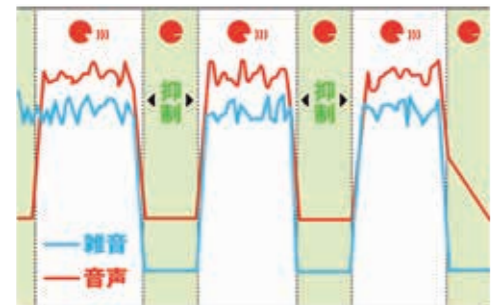
インカムで通話しているときに邪魔なエンジン音、風切り音、ロードノイズなどを提言するノイズキラー機能を搭載。最大で約1/10までのノイズを削減し、よりクリアな会話を楽しめる



バイク用に考えて開発された従来比で33%厚みのあるスピーカーが、奥行きのある音響を実現。エンジンや風切り音に邪魔されて聞こえなくなりがちな低い音もしっかり聞こえる



3Gセンサーを搭載しており、ブレーキのGを感知すると、本体後方に設置されたLEDランプが点滅。後続車へブレーキングしたことを知らせてくれる



会話途切れたときには、マイクが拾った騒音を相手に届けないように、感度が自動的に下がる調整機能を装備。マイクから入る雑音の約80%を削減

なんてことのないように、安全運転を！  
そしてもう一点注目したいのが「BT X2プロ」。今やツーリングライダーの多くが持っているインカムだが、ミッドランドの製品は品質の高さで定評がある。このモデルはライダー4人までの同時通話が可能で、2者間だと最大1km離れた場所でも通話が可能。接続も簡単で、メインメンバーのうちどれかひとつのインカムのボタンをクリックするだけで、4台までのインカムを一瞬で繋げることができる。インカムにとってもっとも重要な音質も、イギリス音響技術研究会社との共同開発によって、ミッドランド史上最高音質を実現。独自のノイズキャンセリング機能によって、クリアな会話が可能なのだ。  
どちらもひと昔前では考えられなかったアイテムだが、これらがあればツーリングの楽しさがググッとアップする。いつもどおりのツーリングじゃ、なんだかマンネリ気味...という人は、先端技術に触れてみるとまた新たな境地が見えてくるだろう。ワンランク上のバイクライフを送るための必需品として、ぜひ導入を検討してみたいかがだろうか。



イグニッションスイッチに連動して自動でループ録音してくれるドライブレコーダーモードと、撮影したいポイントだけ選んで録画できるアクションカメラモードをスイッチ1つで切り替え可能



カメラ本体にはSONYのIMX323レンズセンサーを搭載。200万画素で撮影サイズは1920×1080のフルHDまで対応可能。対向車線の車のナンバーまで読み取ることができる



# MIDLAND XTC-290

LINKS 075-708-2362 http://www.midlandradio.jp

1万4,580円  
記録画素数:Full HD 1080P/HD 720P フレームレート:27.5fps (1080P)/55fps (720P)  
レンズ:200万画素 SONY IMX323 画角:120°(水平) 防塵防水:IP65

常時録画用  
防水ケーブル

マウント  
3種付属



本体自体もIP65に相当する防塵防水性能を持っているが、別売りの防水ケースを使うことで、さらに激しい雨天時や水中での撮影も可能に。海水浴など、より広いフィールドで使いたい人は注目



ヘルメットに装着すれば、ハンドルよりも振動が少ない動画を撮影することができる。車体に付けるのと違い、自分の見た景色がそのまま記録されるので臨場感も抜群



車体への取り付けはハンドルマウントの他、両面テープを使ってカウルなどに取り付ける方法、マジックテープで任意の場所に取り付ける方法などがある



付属品一覧。本体の他に様々なマウントに使うアクセサリや、充電用のUSBコード、落下防止のためのストラップなどが付いてくる

## スイッチ一つで切り替え可能 ドライブレコーダー×アクションカメラ

デジタルガジェットでバイクはもっと楽しくなる  
ツーリングを楽しむ、快適にするアイテムとして、最近ではデジタルガジェットが人気だ。具体的な例を挙げると、音楽を聴くことができるほか、仲間同士で会話したり、ナビの音声を聞くことができる「インターカム(インカム)」、走行中の景色を動画として撮影して、感動を残すことができる「アクションカメラ」などが支持されている。さらに事故に遭ったり、目撃したときに証言の信ぴょう性をより強くし、トラブル回避に役立つ「ドライブレコーダー」も、ここ1〜2年で一気にバイク用として開発されたモデルが普及してきている。  
ミッドランドの「XTC290」ドライブレコーダーは、そんなアクションカメラとドライブレコーダーの機能がひとつになった頼もしくも楽しい逸品。スライドスイッチひとつで両者を切り替えることができるので、普段はバイクにセットして、ドライブレコーダーとして使用。バイクを降りたあとにアクティビティでは、車体から取り外してアクションカメラとして使うことができるのだ。ドライブレコーダーモードでは、防水充電ケーブルが接続されているイグニッションオンで自動で録画を開始するので、撮り忘れの心配はなし！バッテリーは内蔵式で、最大2時間の録画が可能というロングライフ設計もうれしいポイントだ。また、IP65相当の防水性があるので、多少の雨なら大丈夫。別売りの防水ケースを装着すれば、水深25メートルまで対応できるので、たとえばツーリング先で海水浴...なんて場合でもカメラを活躍させることができる。画質はDVDやブルーレイに匹敵するレベルなので、きっと一生の思い出になるはず。もちろん「事故の映像が...」な